

第5回 県道 大阪生駒線（阪奈道路） 辻町 I Cフルランプ化事業について

令和7年11月28日（金）

奈良県 道路建設課・郡山土木事務所
生駒市 事業計画課

目 次

- 1. フルIC化の必要性等について …… 2
- 2. R7.7.30の主な意見に対するご回答 …… 7

1. フルIC化の必要性等について

フルIC化の必要性について

- 辻町ICは、奈良県北部の東西軸である大阪生駒線（阪奈道路）と奈良県西部の南北軸である国道168号の結節点で、交通の要衝となっている。
- 現在辻町ICは、阪奈道路で唯一のハーフルンプであり、奈良方面へのアクセスについては、隣接する生駒ICまたは富雄ICを利用しなければならない状況。

◆ 広域図



◆ 拡大図

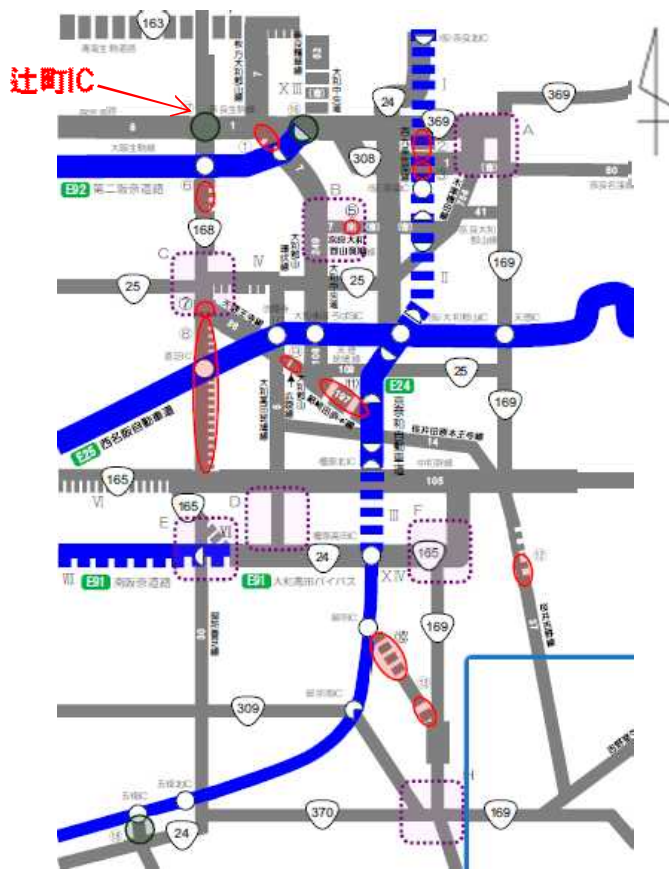


フルIC化の必要性について

■ 奈良県道路整備基本計画での位置づけ

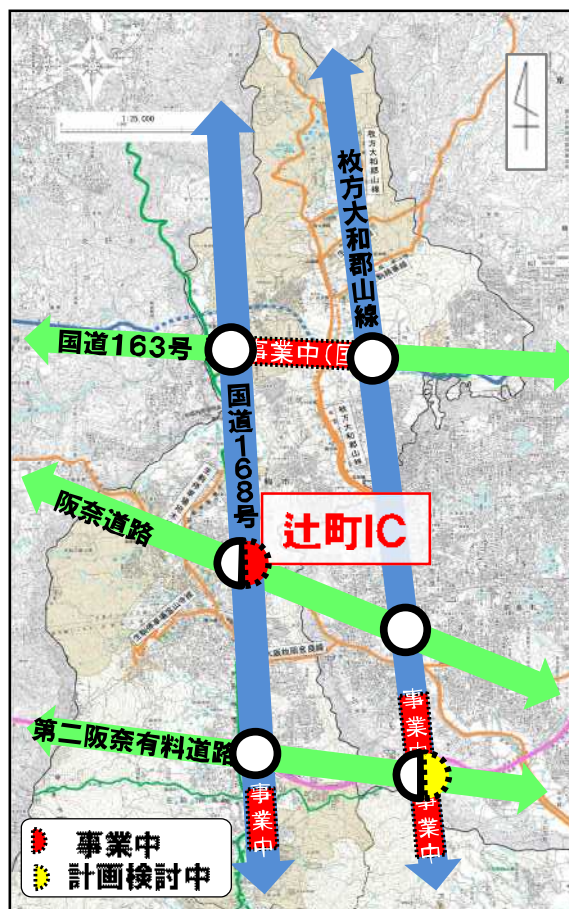
- 県民の暮らしの向上や経済の活性化を図るため、県土の骨格を形成すべき特に重要な路線を『**骨格幹線道路ネットワーク**』と位置付け、道路政策の最重要課題として、**その重点的な整備を推進**
- 辻町ICのフルランプ化は、骨格幹線道路ネットワークの**事業展開箇所(結節点の点的整備箇所)**として位置付け

「奈良県道路整備基本計画(令和元年10月)」



【奈良県道路整備基本計画】

● 生駒市周辺



○南北軸

- ・国道168号(事業中)
- ・県道枚方大和郡山線(事業中)

○東西軸

- ・国道163号(国が事業中)
- ・阪奈道路
- ・第二阪奈有料道路

辻町IC

- ・国道168号と阪奈道路との交差点で、骨格幹線道路ネットワークを連結する重要な地点。
- ・しかし、奈良方面への出入りができない不完全な連結(IC)となっている。

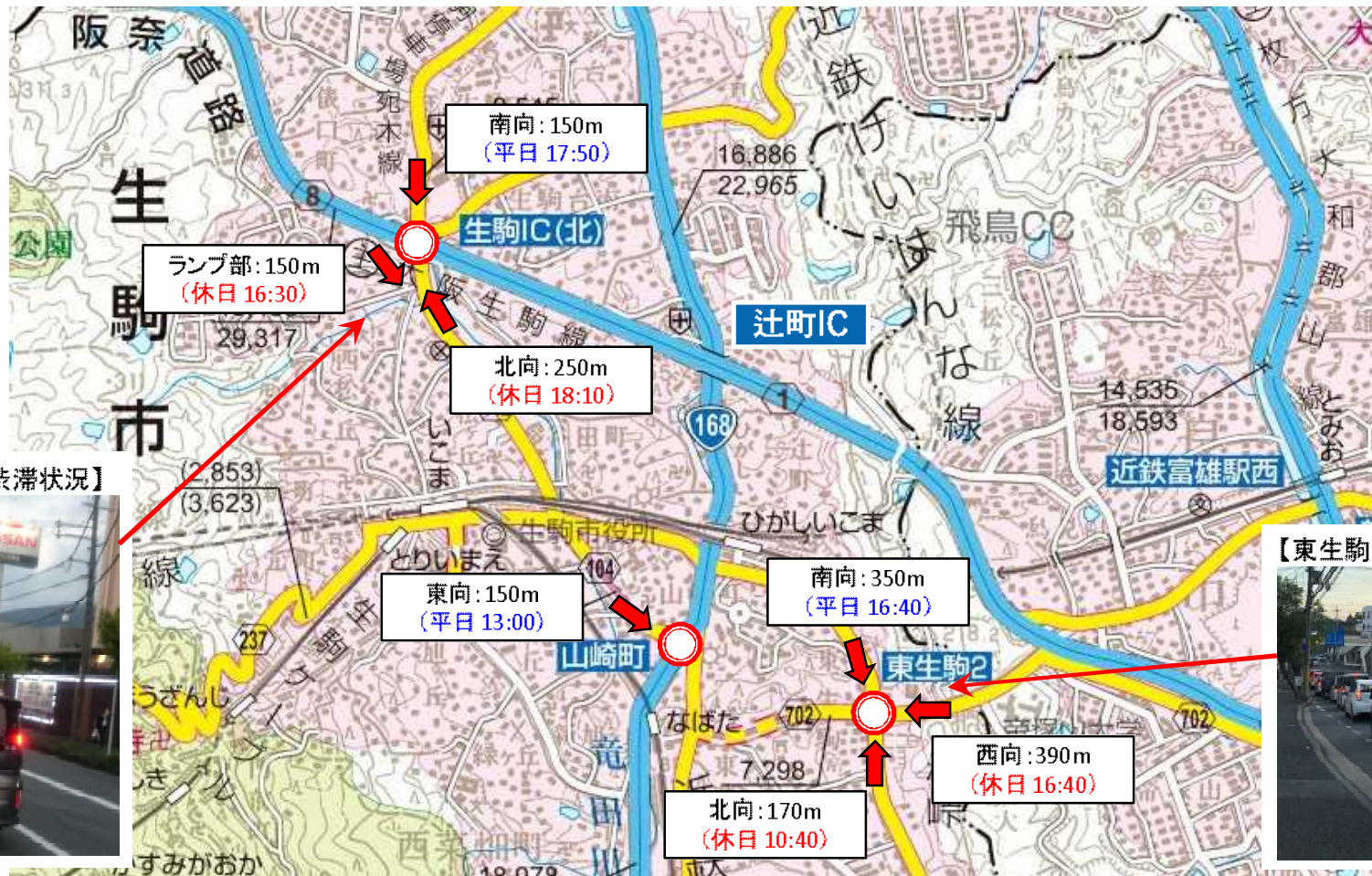
辻町ICをフルランプ化することで、骨格幹線道路ネットワークが強化

フルIC化の必要性について

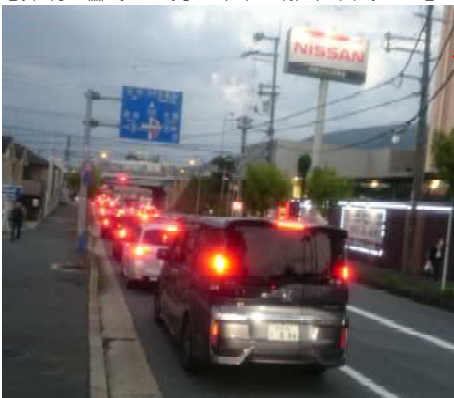
整備効果①【交通混雑の緩和】

- 富雄IC及び生駒IC周辺は平日休日ともに渋滞が発生しており、東生駒2丁目交差点、山崎町交差点及び生駒IC交差点の3箇所が主要渋滞箇所指定されている。
- 奈良市方面の出入交通が東西の富雄IC及び生駒ICに集中しているため、辻町ICのフルランプ化により交通が転換され、主要渋滞箇所の渋滞緩和が期待される。

◆ 現道部主要渋滞箇所の最大渋滞長



【阪奈道路生駒IC交差点渋滞状況】



【東生駒2丁目交差点渋滞状況】



出典) 渋滞長調査の結果

- ・阪奈道路生駒IC交差点 ー 平日: 平成28年10月 6日(木)、休日: 平成28年10月2日(日)
- ・東生駒2丁目交差点 ー 平日: 平成30年11月29日(木)、休日: 平成30年12月2日(日)

フルIC化の必要性について

整備効果②【都市防災機能の向上】

■辻町ICが位置する阪奈道路及び国道168号は、第1次緊急輸送道路に指定されており、災害発生時には広域防災拠点へのアクセス機能強化が図られる。

◆第1次緊急輸送道路間の接続性の向上に期待

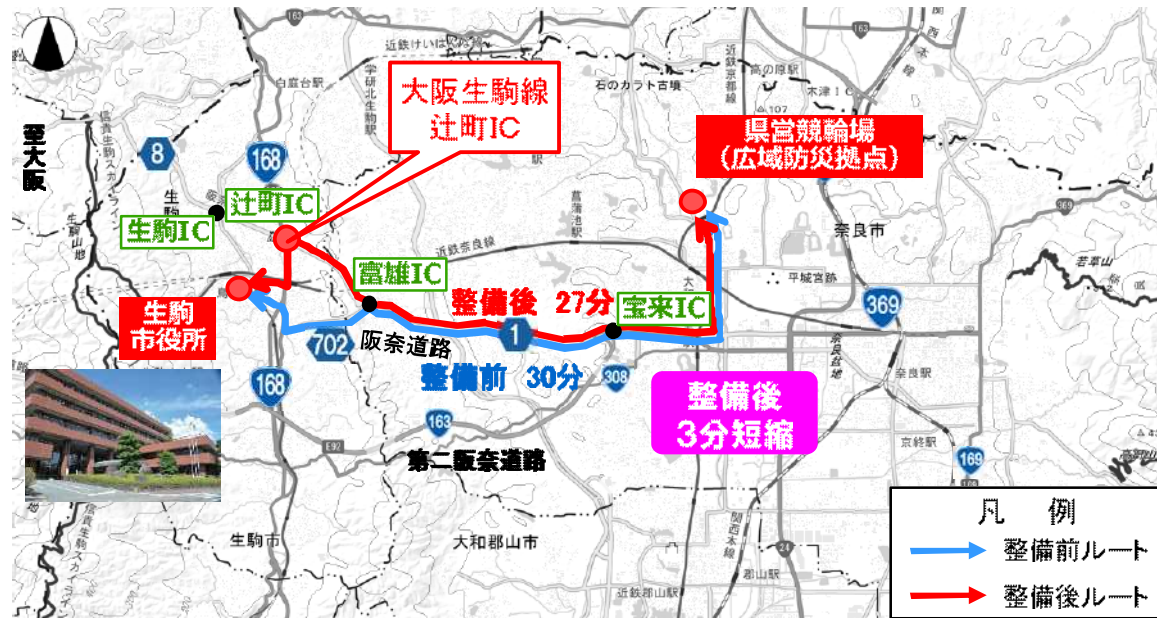


出典) 奈良県HP 緊急輸送道路ネットワーク図(H30.4.1時点)

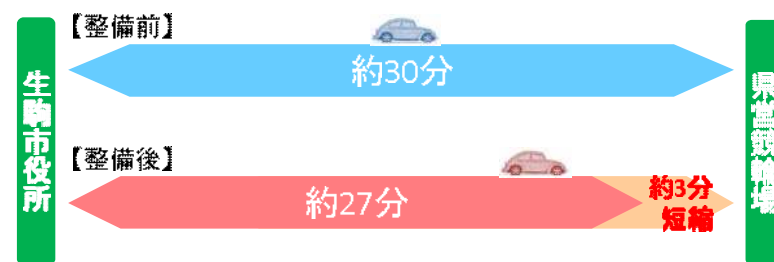
凡 例	
	第1次緊急輸送道路
	第2次緊急輸送道路
	5年以内に変更予定の箇所
	5年以内に変更予定の箇所が閉鎖時、緊急輸送道路が停止される箇所
	県庁・総合庁舎
	広域圏中心都市の市町村役所
	その他の市町村役所
	道路管理庁(土木事務所)
	交通管理庁(県庁)
	道路管理庁(支庁)
	陸運輸局・郵便局・気象台
	道路公社・鉄道会社・数運局

凡 例	
	ヘリポート
	卸売市場・トラックターミナル
	IC・PA・SA・道の駅・鉄道駅前広場
	上下水道
	ガス・電気・電話
	消防署
	日本赤十字
	病院
	広域避難地・自衛隊基地
	県営競輪場・第二浄化センター
	消防学校・長野川浄化センター

◆広域防災拠点(県営競輪場)へのアクセス向上



<生駒市役所～県営競輪場(広域防災拠点)の所要時間の短縮>



※算出条件整備前・整備後、H27年度道路交通センサス混雑時旅行速度及び市道30km/hで算出

2. R7.7.30の主な意見に対するご回答

R7.7.30の主な意見に対するご回答

- ・過年度から事業の必要性に関する説明のみで、意見に対する回答がなければ事業には反対
事業の必要性についても明確に示されたい
- ・近傍に居住している住民に対して、フルIC化に伴うメリットを示すこと

■ 回 答

- 事業の必要性、整備効果で触れた「利便性向上」、「交通渋滞の緩和」、「広域防災機能の強化」等に関しては、事業地近傍に居住している方にとっても寄与する効果と認識しています。
- 整備効果に加え、生駒市の自治連合会を通じ、早期整備に関する要望を市の広域な地区からいただいております、必要性が高い事業であると認識しています。

R7.7.30の主な意見に対するご回答

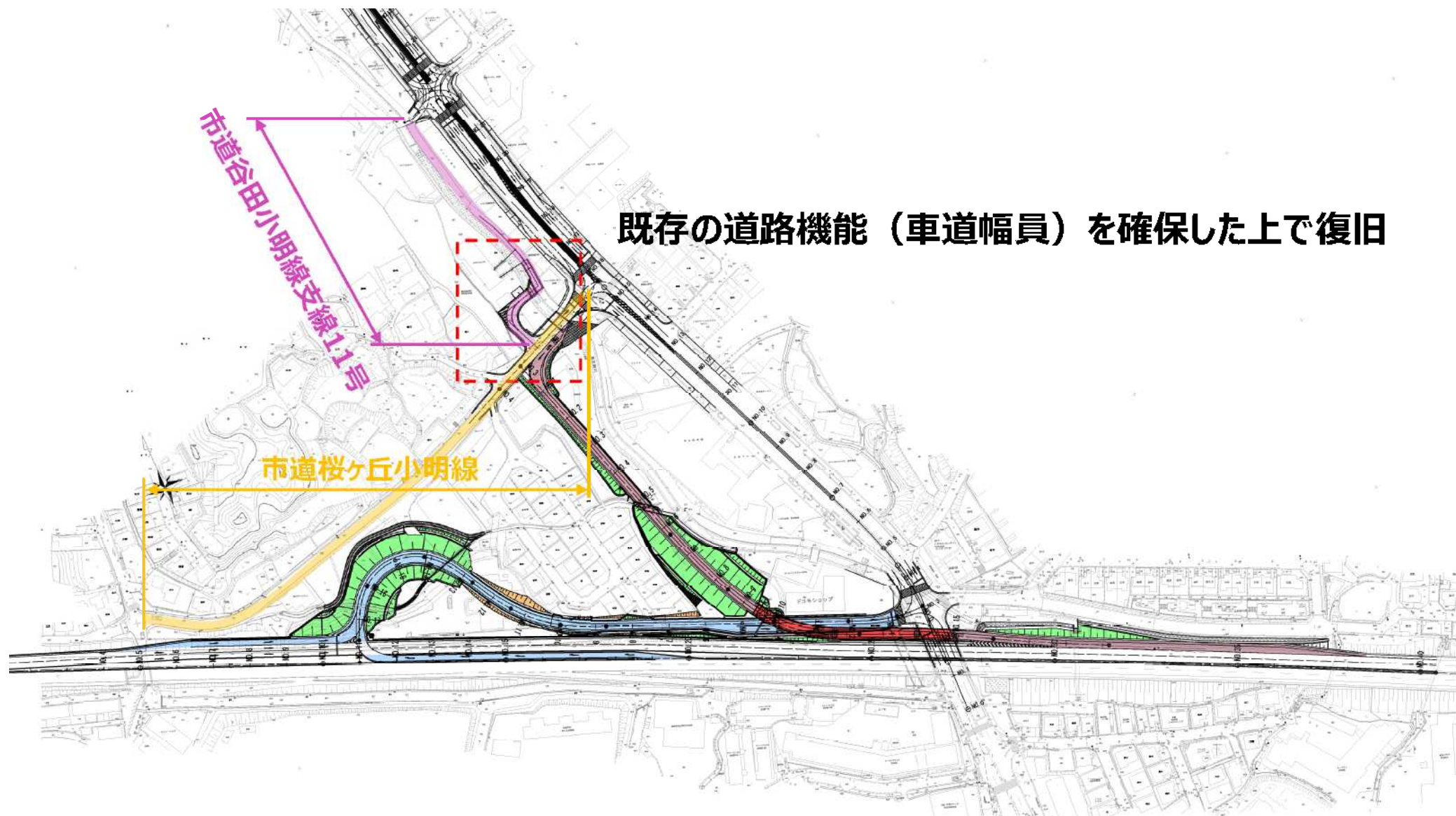
地域住民を対象としたオンランプのアクセス性向上
(市道 谷田小明線支線11号の拡幅・一方通行規制)

■ 回答

- 本計画は、事業地の近くにお住まいの方々が、生活道路として利用している市道桜ヶ丘小明線について、交通量が増えるのを避けてほしい旨のご意見を踏まえ、主要な交通量を国道168号側にした計画となっています。
- ご意見をいただいた市道谷田小明線支線11号の道路を拡幅しますと、市道桜ヶ丘小明線の交通量が、現状より増えるのではないかと思慮されます。
また、一方通行規制には近隣住民の方々のご同意や周辺道路への影響等も勘案する必要があるため、慎重な検討を要するのではと考えます。
- 生駒市としては、周辺の市道に関する調査を実施し、その結果を踏まえた上で地元の総意として望まれる場合は、同道路において拡幅が可能なのか、もしくは拡幅は難しくとも待避所を設けることができるのか等を検討したいと思います。

機能復旧が必要となる施設に関するもの

(5) 市道 谷田小明線支線 1 1号について



R7.7.30の主な意見に対するご回答

辻町IC整備後の環境悪化に伴う補償対応を約束すること

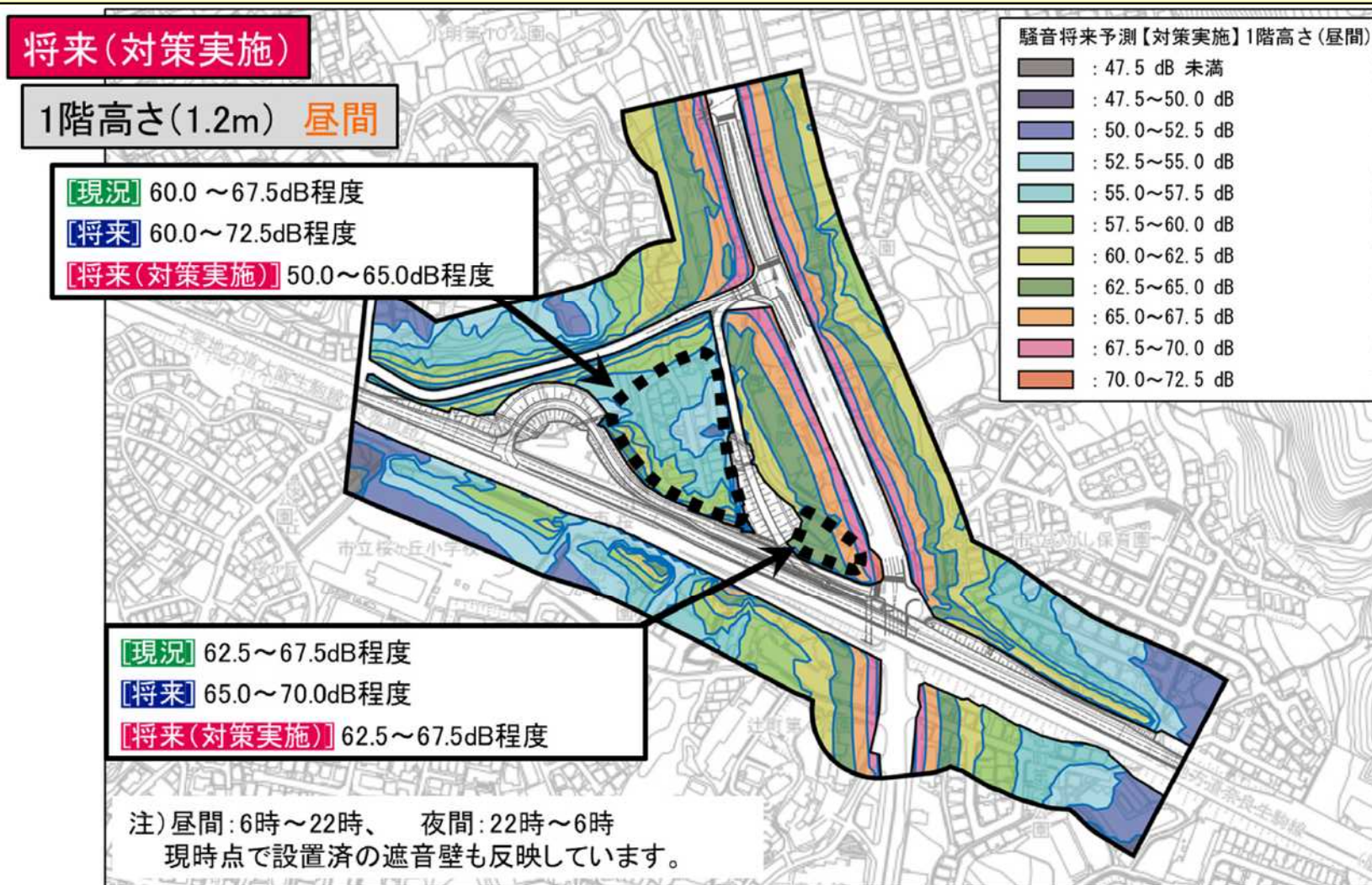
■ 回答

- 環境対策（目隠し、騒音）については、一般的に道路構造自体としての対策として、
 - ①生活環境を守るために、道路と周辺地域の間パネルを設置して視認を遮断する目隠しフェンス
 - ②自動車の走行による騒音を軽減するために、舗装表面に空隙を多く設けた低騒音舗装や、騒音を低減する遮音壁があります。
- 当該地区においては、環境に配慮する観点から、目隠しフェンスの設置、及び整備後においても現在の騒音の状況まで軽減するために、低騒音舗装、遮音壁の整備を進めてまいります。
- なお、辻町IC整備後の環境について、辻町IC整備後に、騒音の観測調査を実施します。

2. 環境影響検討結果

①騒音 将来予測結果(対策実施)【1階高さ一昼間】

- ・ 保全対策を実施し、可能な限り道路からの騒音を低減する方針です。
- ・ 対策を実施した場合における昼間1階高さの予測結果は以下のとおりです。
- ・ 騒音の状況は、おおむね現在の状況と変わりありません。

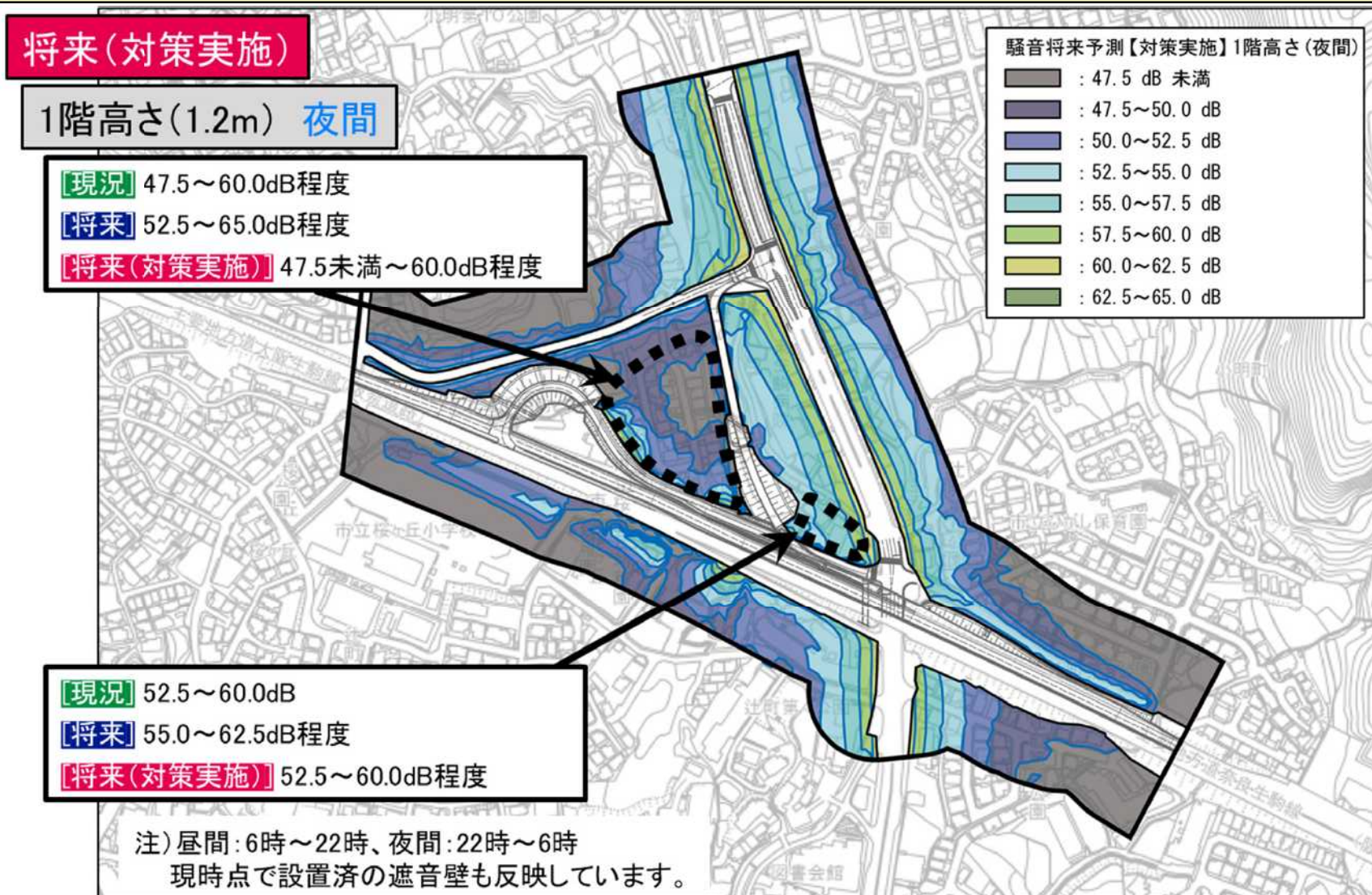


⇒ 辻町IC整備後に、追跡の確認を行うため、騒音の観測調査を実施します。

2. 環境影響検討結果

①騒音 将来予測結果(対策実施)【1階高さ一夜間】

- ・ 対策を実施した場合における夜間1階高さの予測結果は以下のとおりです。
- ・ 騒音の状況は、おおむね現在の状況と変わりありません。



⇒ 辻町IC整備後に、追跡の確認を行うため、騒音の観測調査を実施します。

道路計画に関するもの

(2) 環境対策（目隠し、騒音）について

■ 目隠しフェンス検討範囲

目隠しフェンスのイメージ

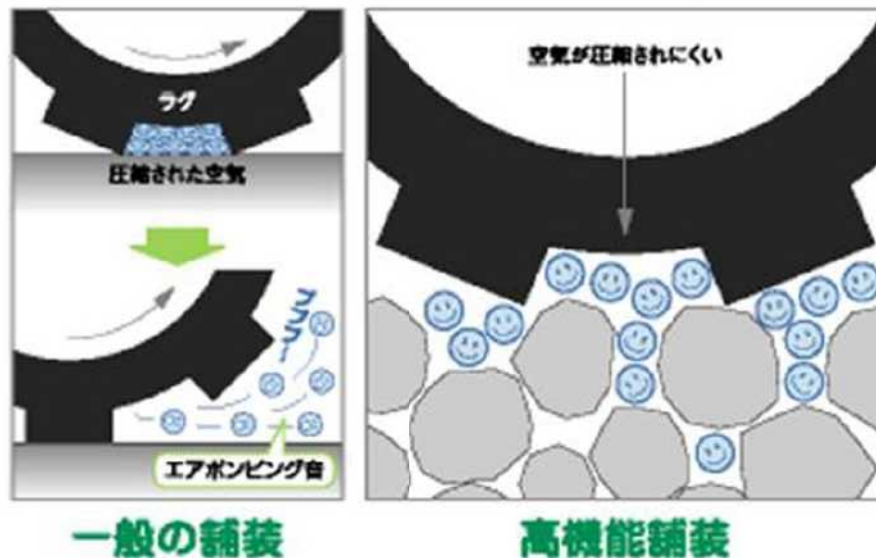
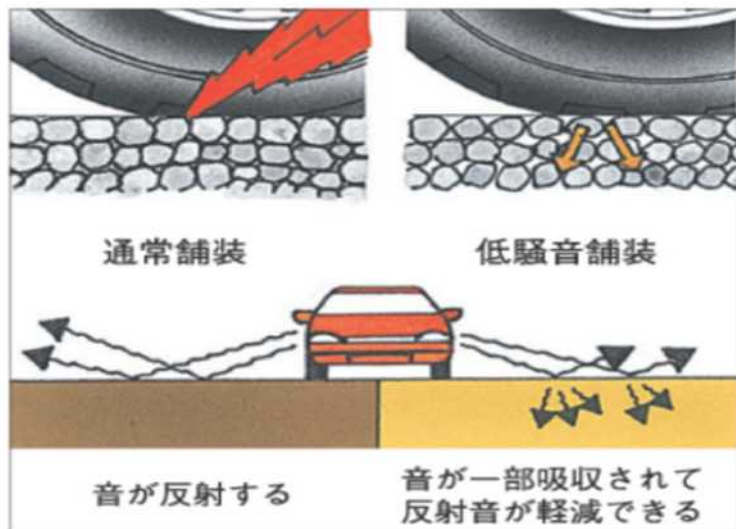


道路計画に関するもの

(2) 環境対策 (目隠し、騒音) について

低騒音舗装のイメージ

低騒音舗装の概念図



高機能舗装は、一般の舗装よりもたくさんのすき間を作るように工夫された舗装です。空気が舗装のすき間に逃げられるため、エアポンピング音が生じにくくなり、3dB程度(交通量が半分になったのと同程度)の騒音低減が期待できます。

※出典：「瀬田で学ぶ舗装工学」建設図書
※一部表記を変更して掲載しております。

【出典】大阪府富田林土木事務所 ホームページを抜粋

遮音壁（高さ5m程度）



遮音壁（透過タイプ）（高さ2m程度）



遮音壁（低層タイプ）（高さ1m程度）



遮音壁（低層+透過タイプ）（高さ1m程度）



R7.7.30の主な意見に対するご回答

辻町ICの整備、警察官舎の撤去の際には、隣接している住居の事前・事後調査を必ず実施すること

■ 回答

- 工事中の振動等による周辺の土地や建物への影響を考慮し、一定の範囲内において、事前に地盤の水準と建物の内外部の状態を調査します。また、工事終了後に再度調査を実施し、工事施工前と後を比較して影響の度合いを判定します。
- 万が一損傷等が見られ、**本工事が原因と判定された場合、県の補償対象**となります。

【 調査内容（一部例示） 】

- ・ 宅地地盤の水準測定
- ・ 柱等での傾斜測定、敷居等での水平測定
- ・ 外壁、外構、各部屋内部のクラック、目地切れ、隙間等の測定
⇒ これらの測定状況を**写真撮影にて記録**

R7.7.30の主な意見に対するご回答

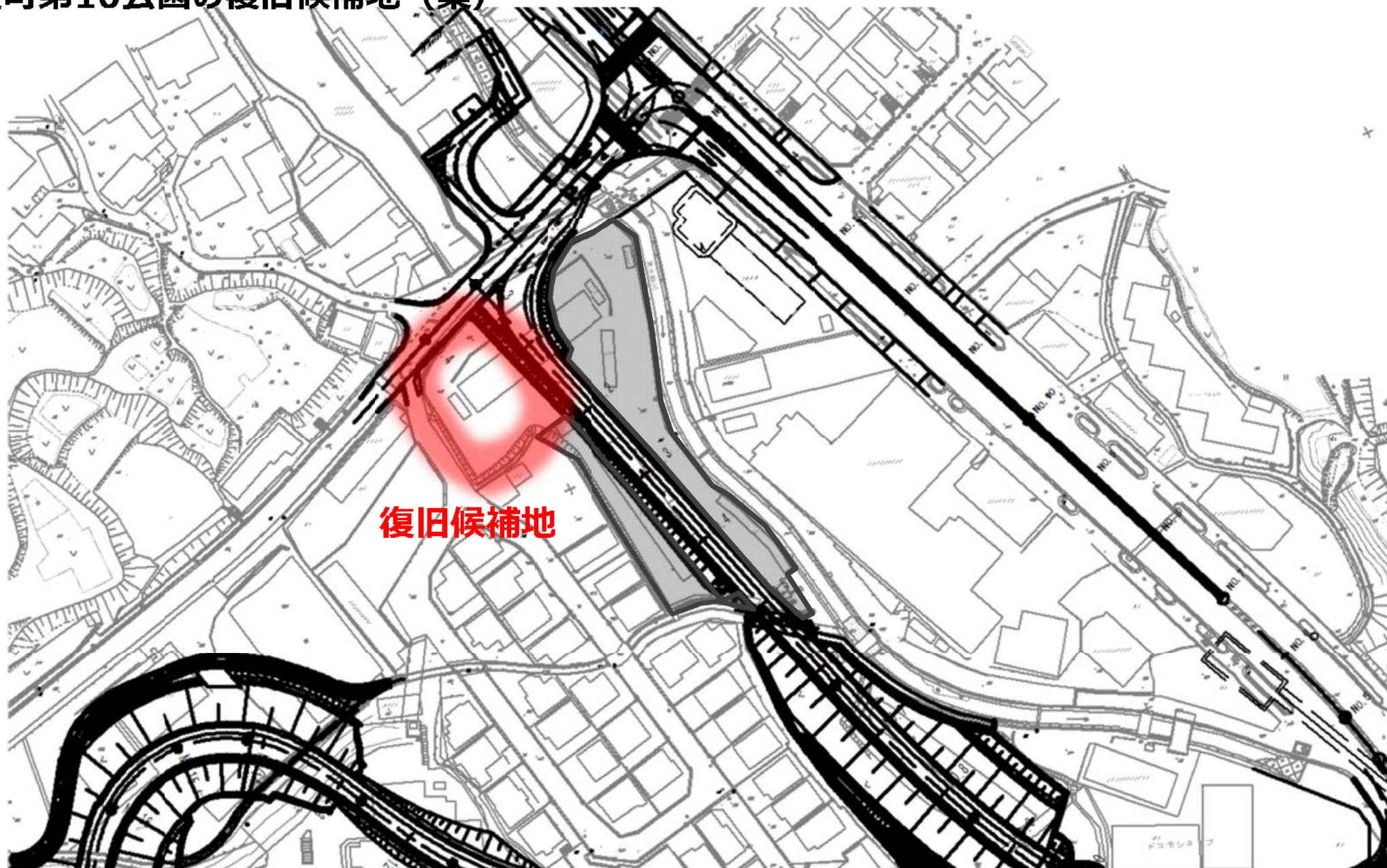
辻町第10公園の具体的な機能復旧方法（復旧場所、内容等）を示すこと

■ 回答

- 辻町第10公園の機能復旧については、警察官舎跡地を候補地とし、管理者になる予定の生駒市とも連携を図りつつ検討を行っていきます。
- 機能復旧の候補地は、現在の公園の広さを確保できる場所になります。なお、地元の方々に活用いただく範囲については、地元自治会とも協議の上で検討を進めます。
- 現在の公園内の施設等については、候補地において現状の機能を確保することを基本として、移設ができるかどうかも含め検討を進めます。
- なお、現在の辻町第10公園も含め、一部の辻町IC事業のオフランプの事業用地としてご協力頂く土地の跡地は、緩衝緑地帯として整備することで、周辺的生活環境の保全に努めてまいります。

警察官舎跡地に辻町第10公園の機能を復旧

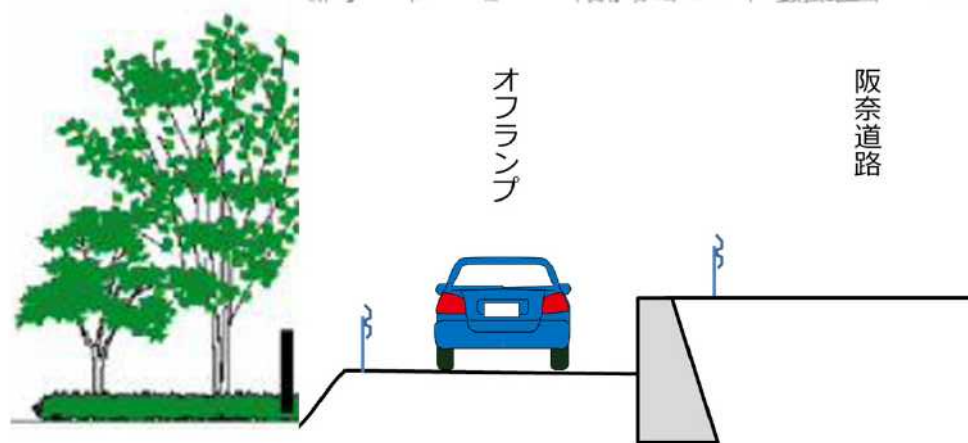
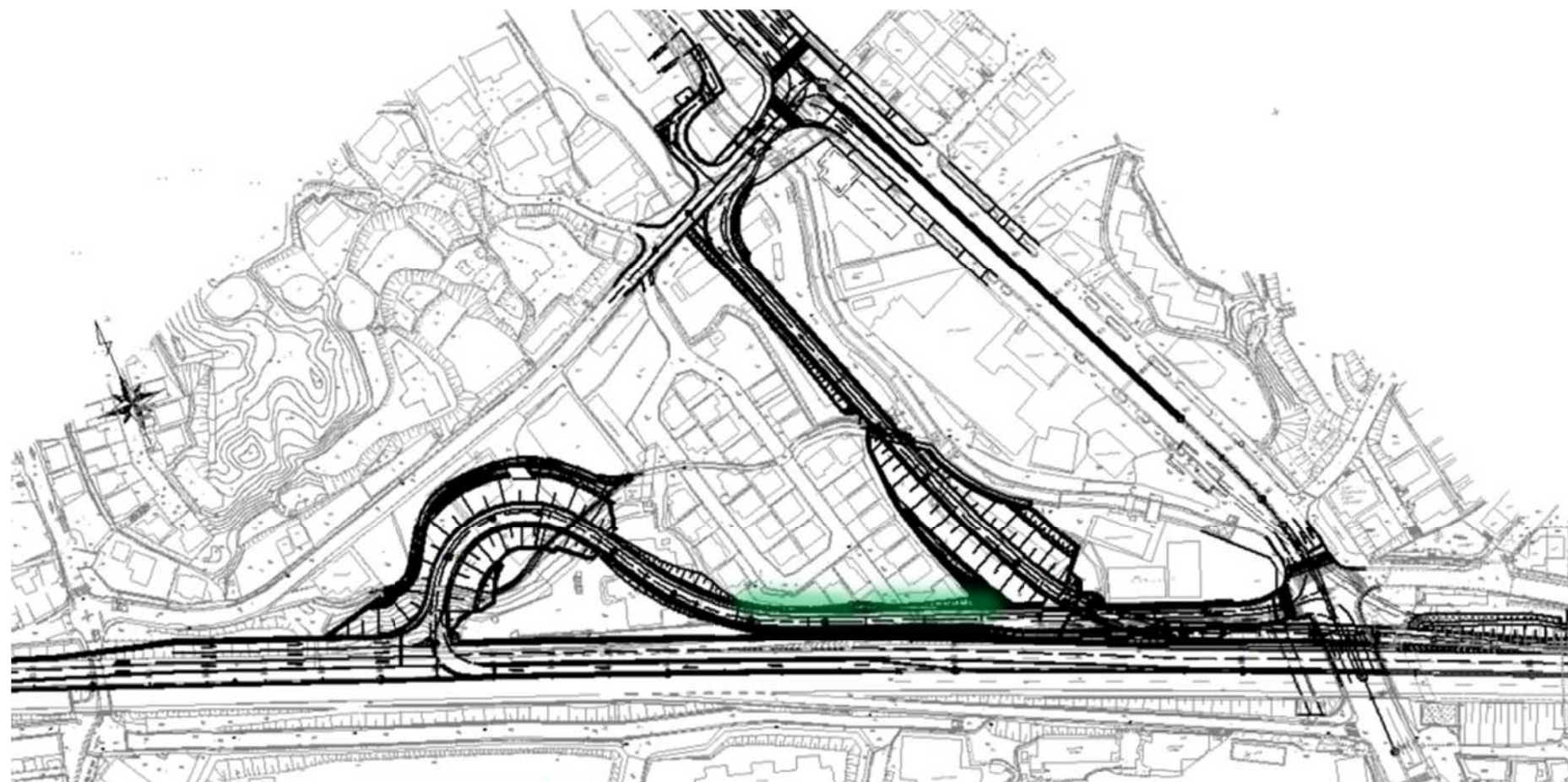
■辻町第10公園の復旧候補地（案）



※既存公園の「敷地面積」及び「機能」を同等程度は確保した上で復旧

辻町第10公園周辺跡地を緩衝緑地帯で整備

■ 緩衝緑地帯のイメージ



オリンピック

阪奈道路

R7.7.30の主な意見に対するご回答

辻町ICの整備完了に伴う周辺の歩行者導線（島田バス停、通学路等）を示すこと

■ 回答

<島田バス停>

- 島田バス停への歩行者導線については、現在、市道 桜ヶ丘小明線の歩行空間の通行となっております。
- 辻町IC整備後は、オンランプと国道168号の接続区間の改良に伴い、歩行者と車両を分離する構造の歩道の通行となります。

<通学路>

- 「桜ヶ丘小学校」と「生駒中学校」の通学路指定区間までの市道 桜ヶ丘小明線は、歩行者と車両を分離する構造の歩道があります。
- 辻町IC整備後において、通学時の安全対策が必要と確認された場合には、生駒市とも協議を行いながら適切に対応します。

…… 続き ……

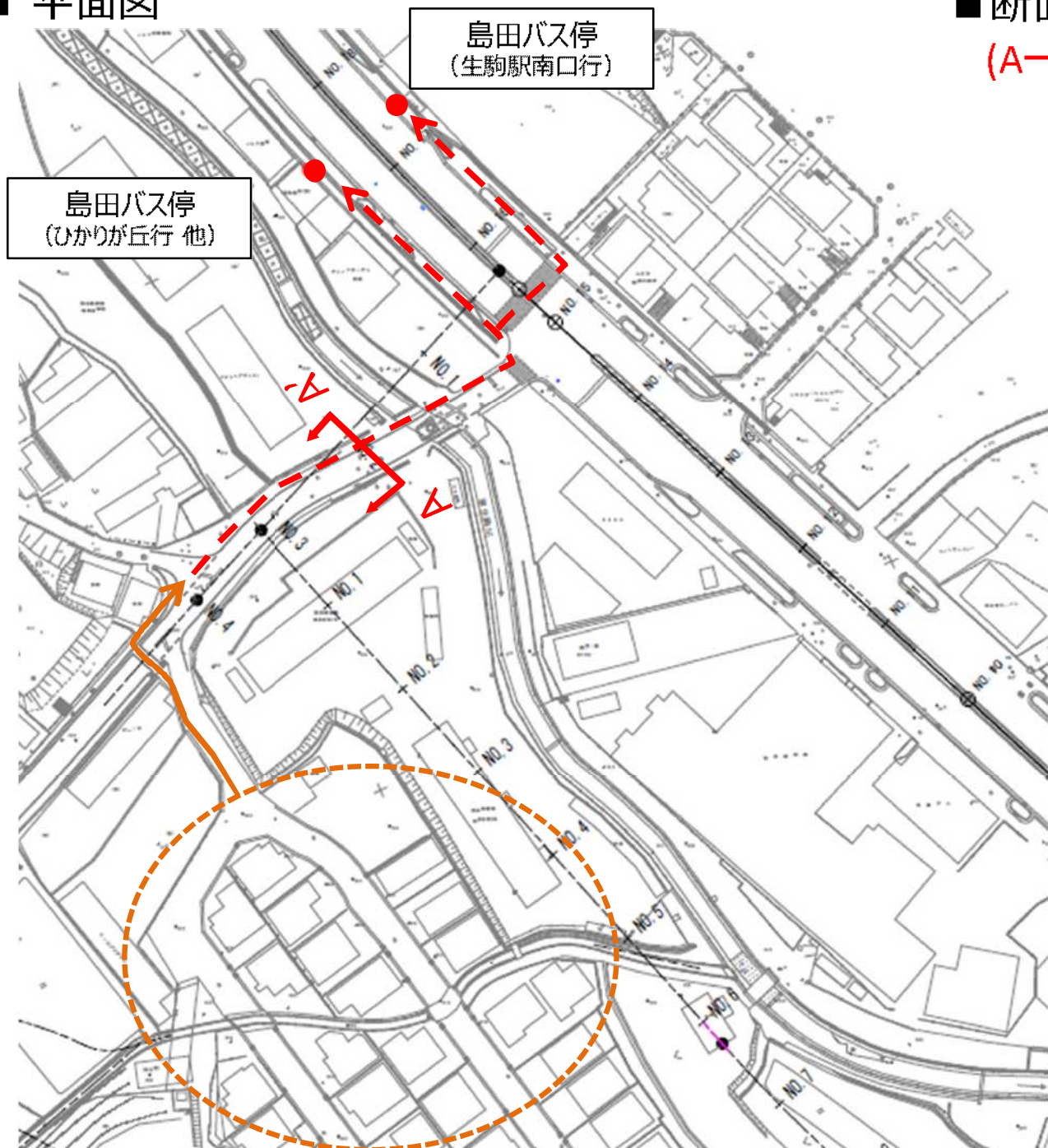
■ 回答

<東生駒駅>

- 東生駒駅への歩行者導線については、現在、東生駒川に流入している水路沿いの通路を通行し、東生駒川の河川管理用通路を経由した通行となっております。
- 辻町IC整備後は、オンランプで分断される水路沿いの通路の機能を確保したボックスカルバートの通行となります。

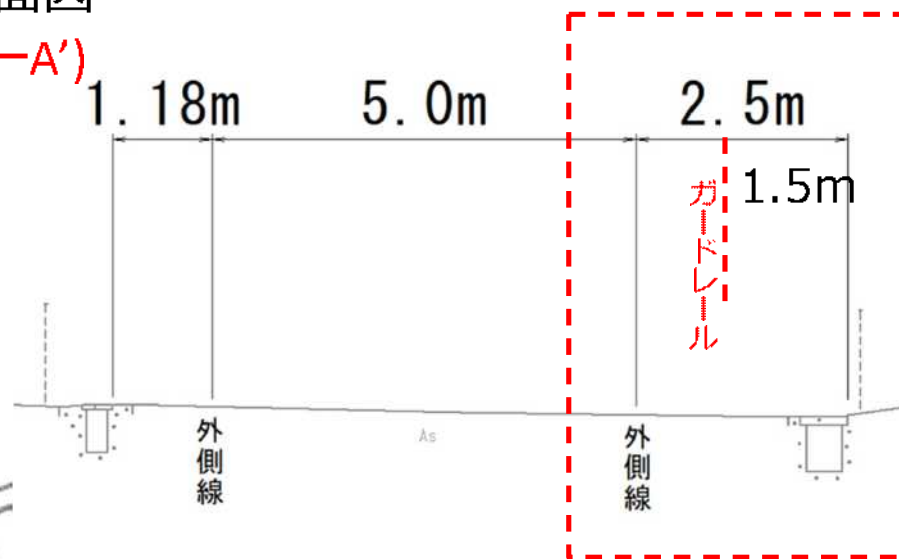
島田のバス停にかかる歩行者導線【現在】について

■ 平面図



■ 断面図

(A-A')

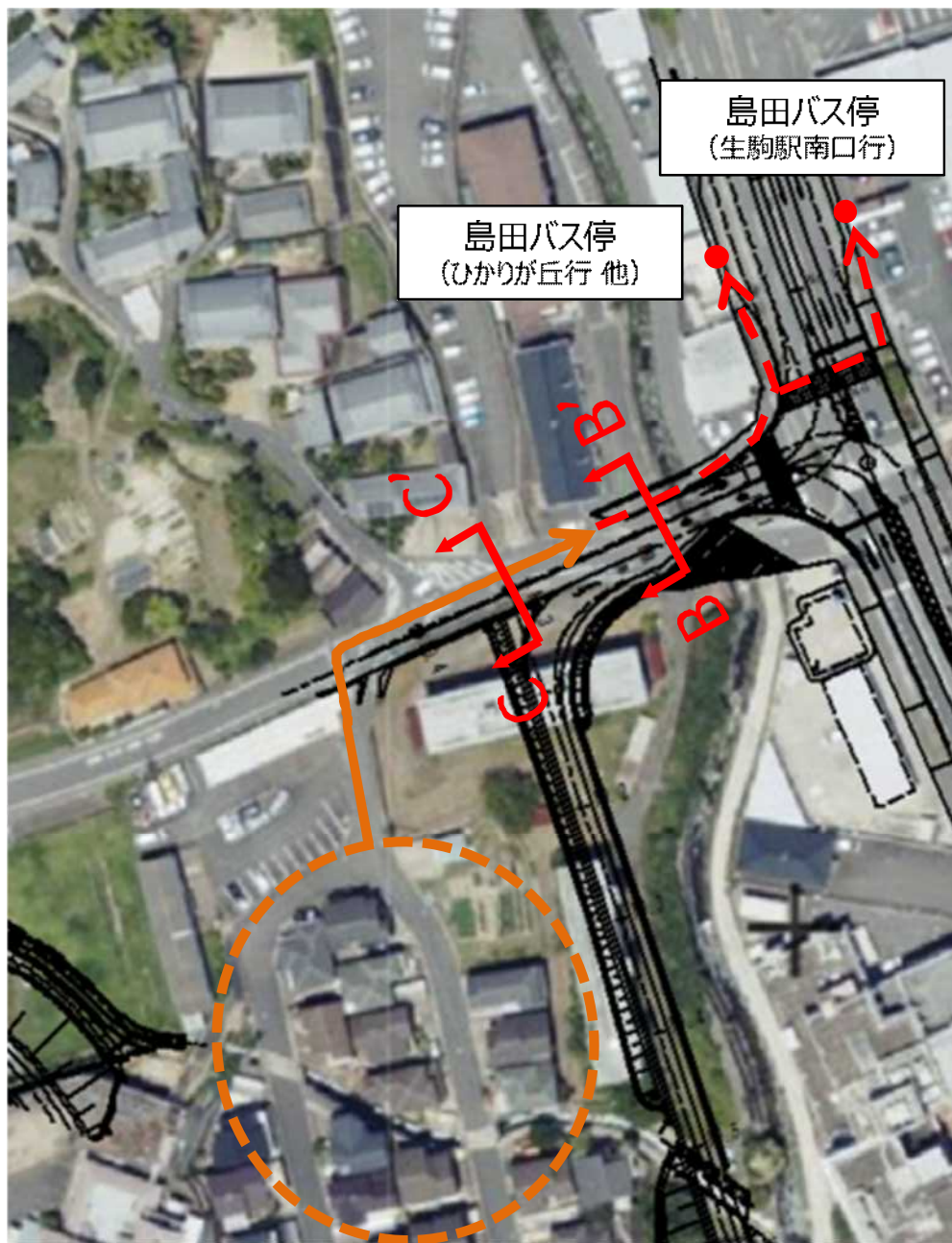


凡例

- ▶ : 計画影響区間
- ▶ : 影響なし

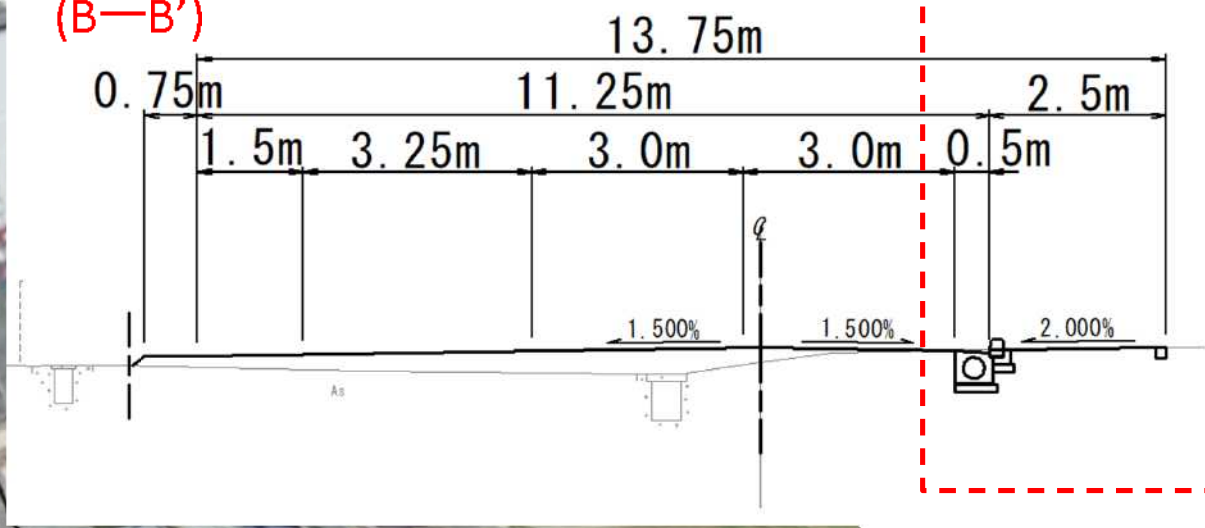
島田のバス停にかかる歩行者導線【整備後】について

■ 平面図

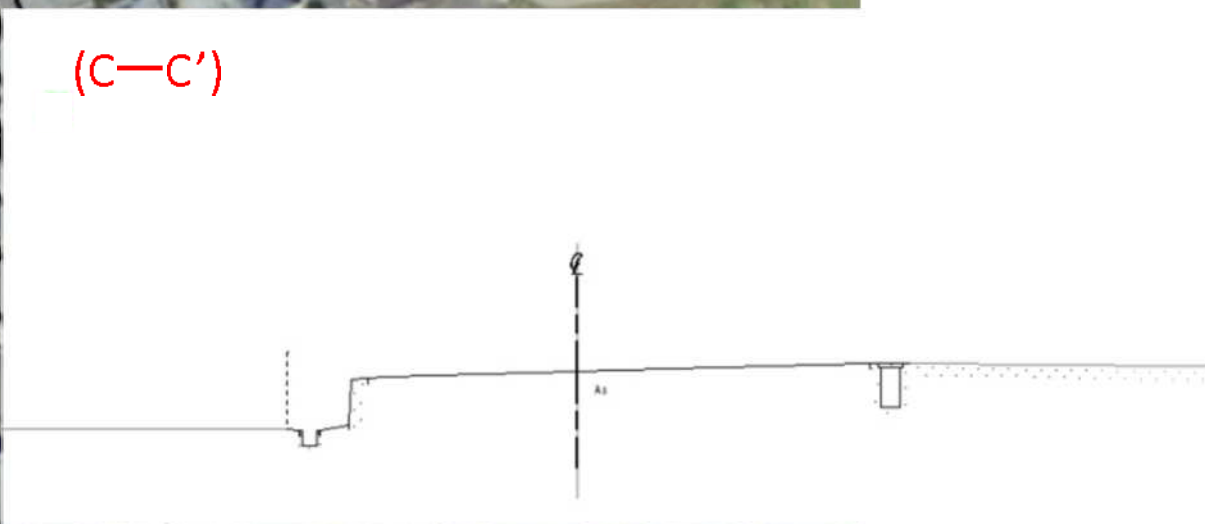


■ 断面図

(B—B')



(C—C')

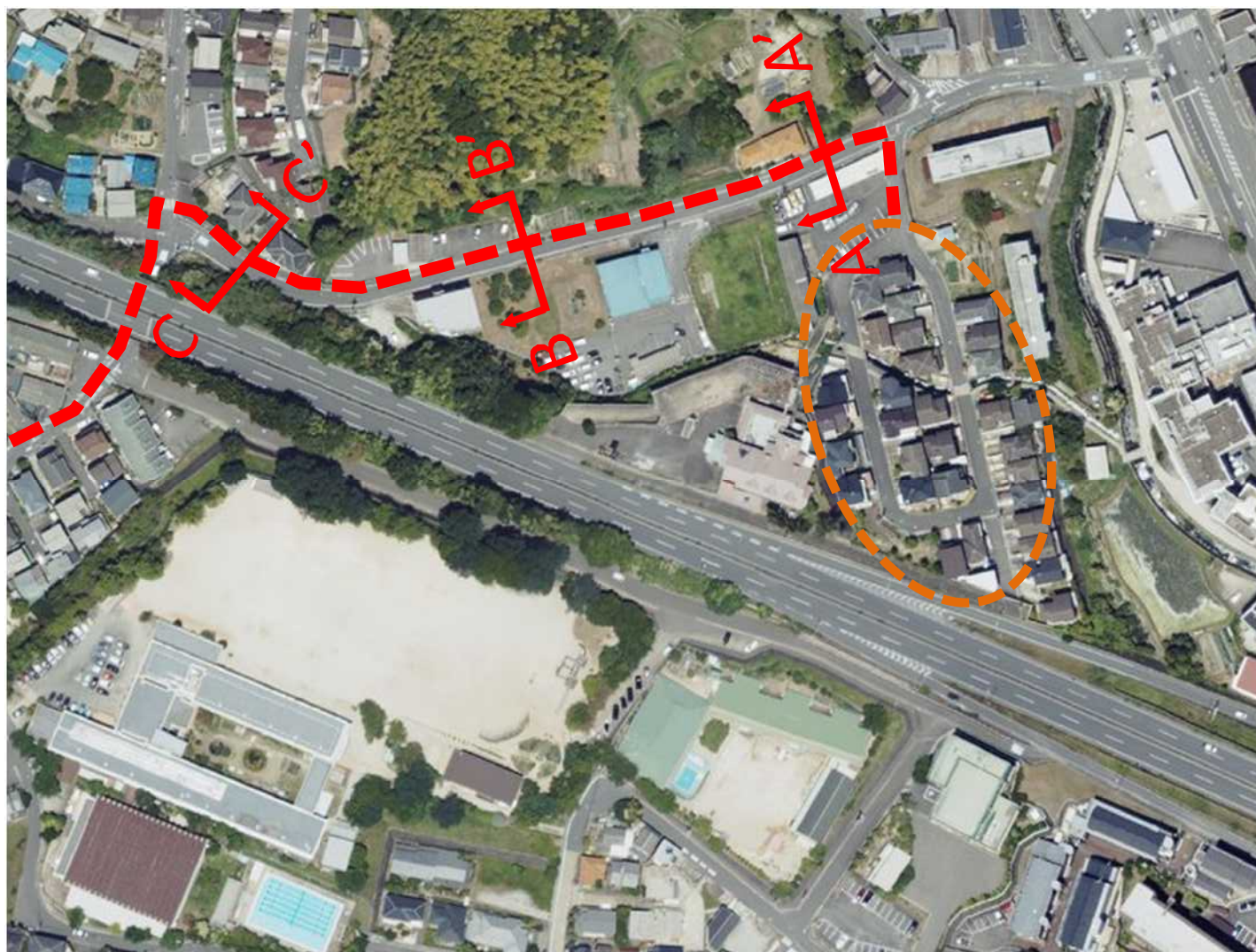


凡例

- - - > : 計画影響区間
- > : 影響なし

通学路指定区間までの歩行者導線【現在】について

■ 平面図



【出典】国土地理院の航空写真

■ 現況写真

(A—A')



(B—B')



(C—C')

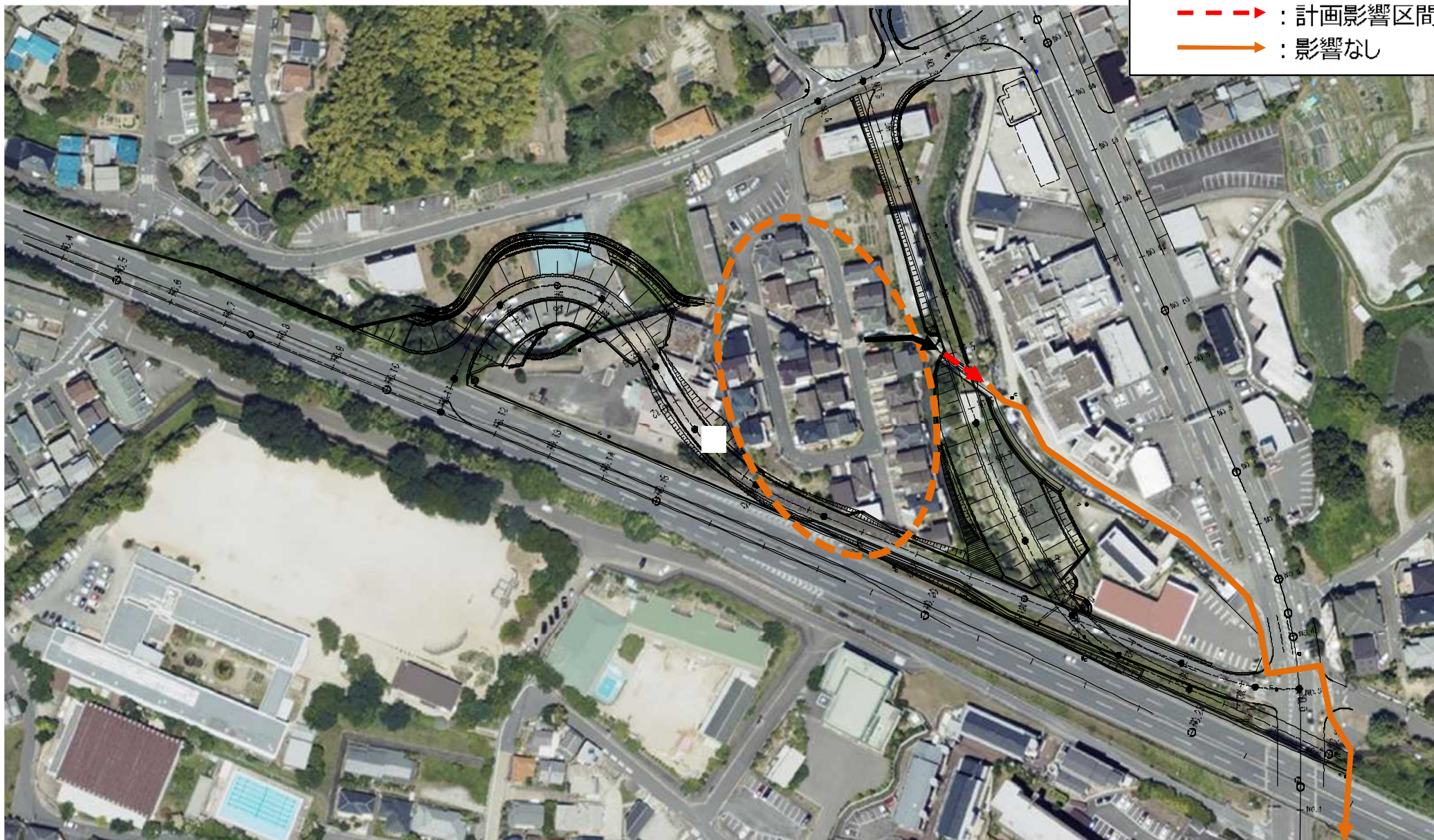


凡例

--- : 通学路指定区間までの歩行者動線

東生駒駅にかかる歩行者導線【整備後】について

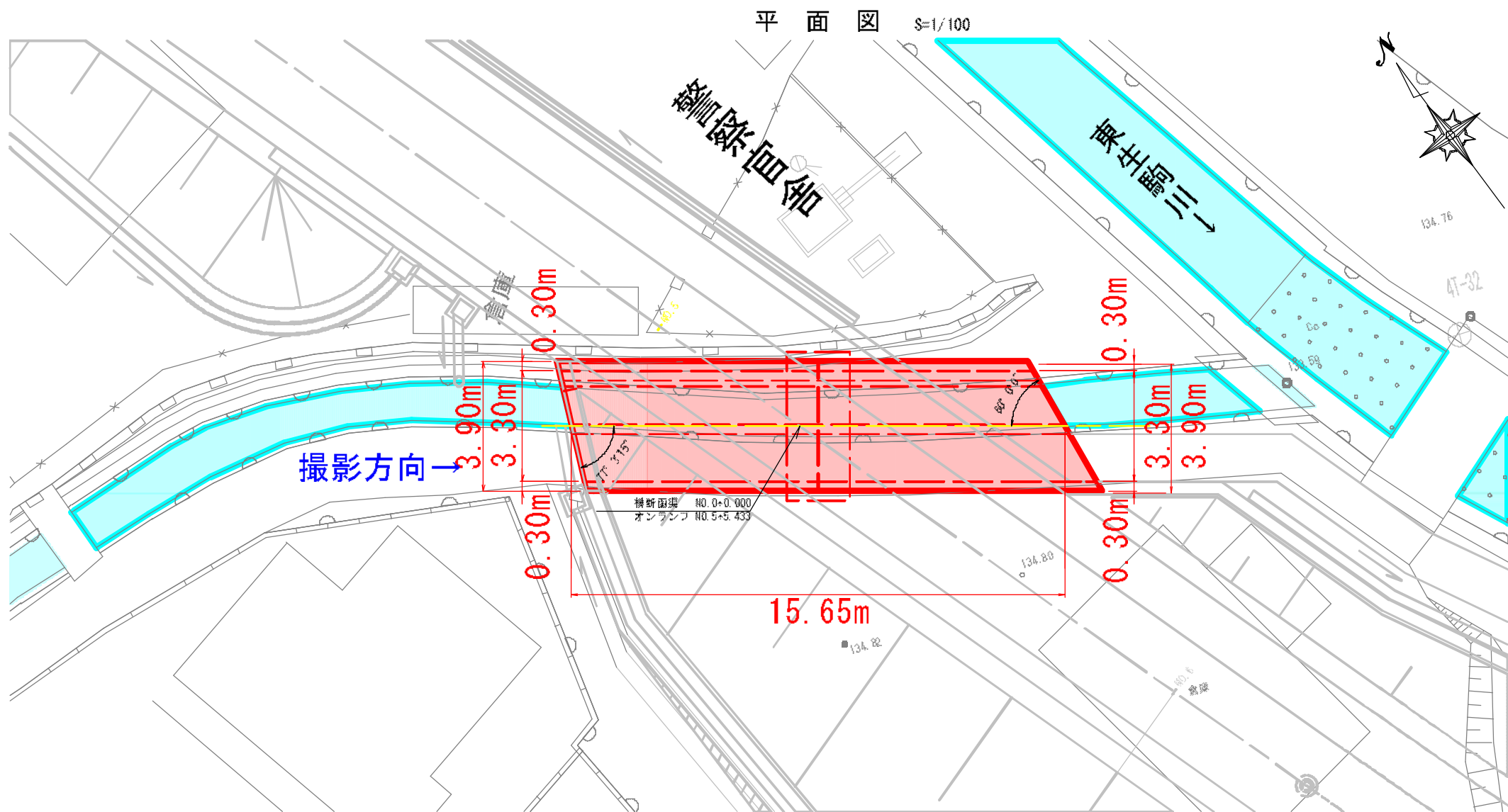
■ 平面図



【出典】国土地理院の航空写真を、奈良県が計画図を重ね合わせて作成

機能復旧が必要となる施設に関するもの

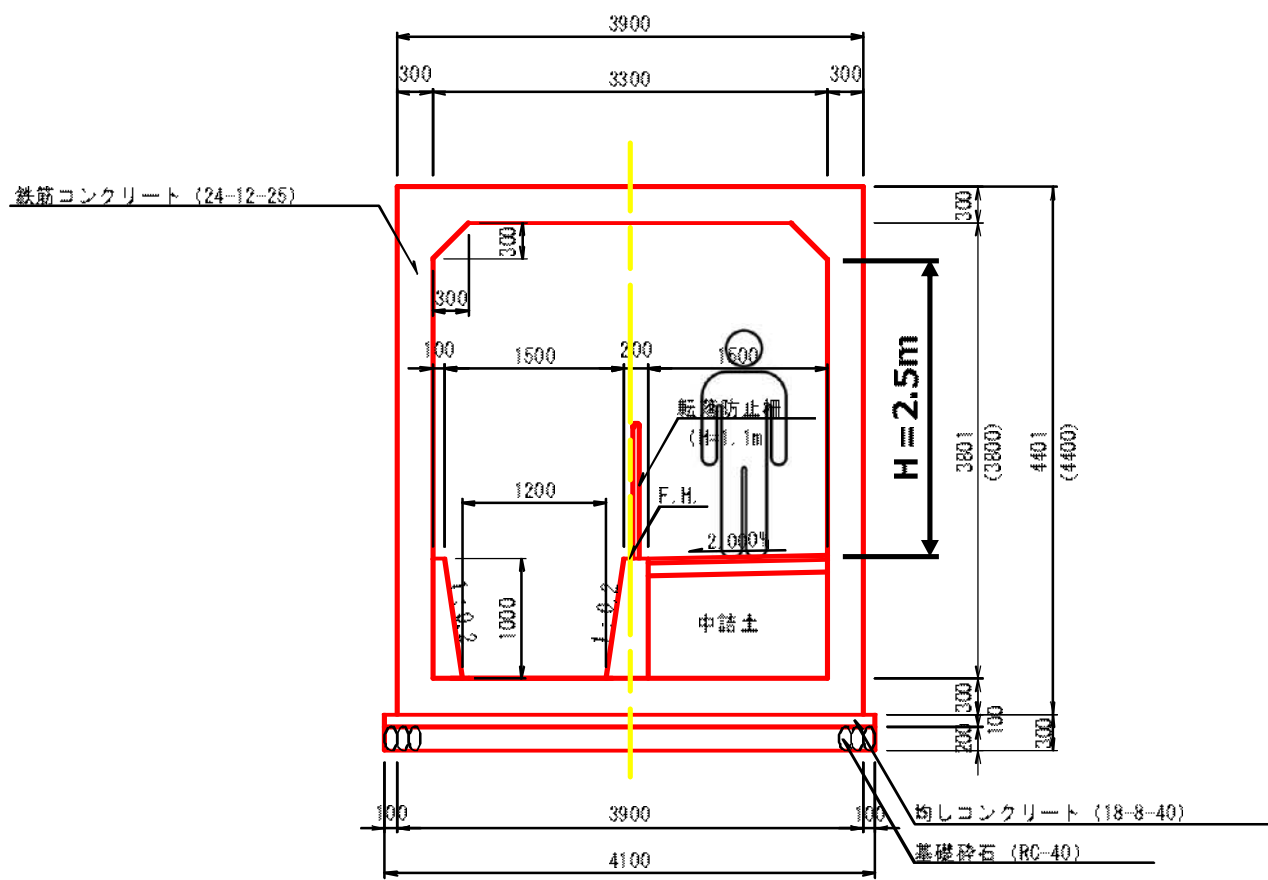
(3) オンランプ地下横断ボックス（水路含む）の構造について



機能復旧が必要となる施設に関するもの

(3) オンランプ地下横断ボックス（水路含む）の構造について

標準断面図 S=1/50



既存の通路及び水路

